



別刷り

第7回

学習企画

# 「軍事国家への道を許さない」

## 台湾を巡る軍事的側面

次に台湾の状況を見ます。中国は、「台湾は中国の一部」という立場ですから、国内政治および国際政治においてきわめて重要なものになっています。同時に

自由な海洋活動をしていく上できわめて重要な場所にあるのが台湾本島です。台湾本島は、運輸ハブとして海運と航空運輸の中心を形成している要衝です。

兵力	台湾	中国
陸上兵員	17万人	30万人
機甲部隊+機械化部隊	16旅団	43旅団
攻撃ヘリコプター	96飛行隊	
対地ミサイル	12中隊	不明
水上戦闘艦	26隻	82隻
掃海艦船	9隻	54隻
第4世代要撃機	325機	1,080機
防空ミサイル	202中隊	882中隊

▲ミリタリーバランス2020より作成



▲台湾海峡 (出典: Wikipedia)

上の表をみてもらうとわかりますが、決して中国が圧倒的な軍事力という状況ではないことが見てとれます。しかも古くから攻める側は、防御側の3倍の兵力が必要だと言われてきたことからみると、安易に中国が台湾に軍事侵攻できるとは思えません。

しかも台湾本島への上陸作戦は、かなり難しいものになります。それと言うのも台湾本島の上陸地点は、きわめて限られていて、おそらく台北市の西側桃園地域であると想定されています。ここには、港湾施設と国

際空港があり、上陸適地と言えます。また台湾侵攻の時期も限定されます。夏はフィリピンから強い熱帯風と暴風雨、そして台風。冬期はシベリアからの強い寒気団があり、荒れる可能性が大です。ですから、台湾侵攻時期は3月下旬～4月末までもしくは9月下旬～10月末までと限られています。当然台湾側も防御はしっかり行っていますので、そう安易に軍事侵攻はできないものと思われます。

## 中国の自由な海洋活動とは

さて、ここでさらに大事な点があります。そもそも「中国は自由な海洋活動・自由な経済活動をしたいがために台湾海峡を自分たちのものにしようとしている」という理屈がニュースでよく見聞きします。同時に

よく見る世界地図を反転させ、中国が自由な動きを抑える位置に日本があり、そのことをもって日本への攻撃の意図があるという主張があります。果たして本当なのでしょうか？

▼逆さまから見る位置関係  
(出典: Wikipedia 画像を反転)

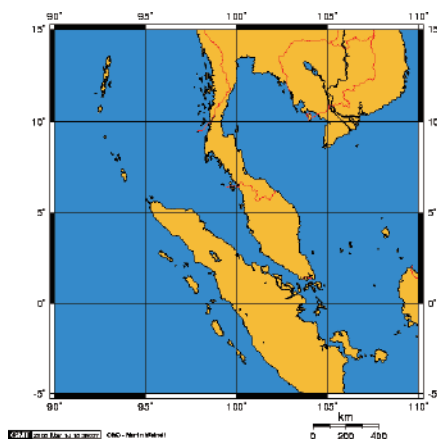


自由な経済活動・海洋活動という場合ですが、これは、中国にとっても日本にとっても同じ内容になります。太平洋の方に出て行くということの意味ではないのです。この場合は、インド洋を通過してアフリカへ。ホルムズ海峡を通過して中東諸国へ。スエズ運河を通り地中海に抜けてヨーロッパへということ。中国がよく言っている「一帯一路」というフレーズが思い起こされます。ですので、台湾海峡だけではなく、インド洋に抜けるシンガポール海峡・マラッカ海峡・ホルムズ海峡・スエズ運河が自由な海洋活動・自由な経済活動にとってきわめて重要になります。

仮に中国が武力によって台湾を支配する行動に出た場合、シンガポール海峡・マラッカ海峡の周辺国＝シンガポール・インドネシア・マレーシア・タイという沿岸国が対中国包囲網を敷くことは容易に想像されます。これらの国々は東南アジア諸国連合 (ASEAN) に加盟しており、地域の政治・経済・軍事にいたるま

で協議・連携しており、これらの国々と敵対することになるのです。

ですから、万一中国が武力で台湾を攻撃した場合、シンガポール・インドネシア・マレーシア・タイの4ヶ国に対しても同時に軍事侵攻をしなくてはならないという事態となります。そうするとベトナムやミャンマーにも軍事侵攻の承諾を得る必要もあり、あまりにも軍事の常識からかけ離れたこととなります。その意味からも中国が台湾へ軍事進行を起こすということは極めて想定されにくいことだと言えます。



▲マラッカ海峡とシンガポール海峡 (出典: Wikipedia)

## 危険は、外部からの軍事圧力

このように考えると、他国が中華人民共和国 (中国) と中華民国 (台湾) の争いに武力で介入しようとしたり、むやみに兵力を配置するような行動こそが、事態を悪化させることになると思われます。同時に東南アジア諸国連合 (ASEAN) に加盟する国々に「アメリカや日本が軍事的威圧を中国にかけた結果中国が反発をしたのではないか。中国にそういう行動をとらせるような事態を誘発した国こそ問題である。」という中国の台湾への軍事攻撃に口実を与え、中国のシンガポール海峡やマラッカ海峡の通航権を保障するような対応になる可能性も浮上するような軍事的挑発こそ問題だと考えます。平和外交に徹していくことこそ、地域の安全・安定につながるものと思われます。

(国吉)



▲アメリカの空母艦 (出典: Wikipedia)